

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(一覧表)

● 令和5年度に新規登録された22技術の新技術は以下のとおりです。

※ 技術名称欄よりNETIS情報が確認できます。 ※ 備考欄の「概要」より技術概要が確認できます。

番号	工 種		技術名称	特徴(アピールポイント)	NETIS登録 番号	備 考
	Lvl.1	Lvl.2				
1	土工	施工管理	施工計画シミュレーション「Smart Construction Simulation」	施工計画時の問題点を3D可視化および再計画立案補助システム	QS-230007-A	概要
2	土工	施工管理	高速ドローン測量システム「Smart Construction Edge2」	ドローン撮影画像を現場で高速かつ高精度に3次元データ化する装置	QS-230006-A	概要
3	土工	施工管理	重機登坂作業時の危険警告システム「登坂傾斜OKくん」	重機登坂時に危険を知らせるシステム	QS-230008-A	概要
4	共通工	ボックスカルパート工	新設・既設構造物取り合い部止水板「サンタックL型止水板・D-L型止水板」	変位追従の付加と構造改善により施工性が向上した止水板	QS-230019-A	概要
5	基礎工	鋼管矢板基礎工	鋼管内掘削(水中掘削)オムパロス工法「A工法」	ウォータージェットによる鋼管内の掘削と洗浄の同時施工	QS-230016-A	概要
6	コンクリート工	施工管理	簡易型表面吸水量試験機「PORO SIT」	コンクリート含浸材の性能を非破壊で簡易に検査できる装置	QS-230005-A	概要
7	仮設工	仮設材設置撤去工	サイウオール(消音仮設壁)	工事騒音(空気伝播音)を約30dB低減できる消音仮設壁	QS-230021-A	概要
8	河川海岸	多自然型護岸工	二次製品小口止ブロック「小ロブブロックZ(ゼット)」	コンクリートブロック積みに用いるプレキャスト小口止ブロック	QS-230003-A	概要
9	舗装工	コンクリート舗装工	重気炉酸化スラグを用いた透水性舗装「ばどれすロード舗装」	環境に配慮したコンクリート舗装	QS-230009-A	概要
10	舗装工	ブロック舗装	国産環境型レンガ「BYブリック」	バイオマス発電の副産物を使用した保水透水性舗装用レンガ	QS-230020-A	概要
11	付属施設	道路付属物工	蓄光アクリルシーラント(RX-A)	蓄光顔料をアクリル・シリコンに配合した蓄光材	QS-230010-A	概要
12	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」	浸透タイプのひび割れ補修工	QS-230015-A	概要
13	道路維持修繕工	道路除草工	防草・地被植物活着促進シート「べた〜とシート」	防草機能と地被植物活着促進機能を合わせ持つ長期防草シート	QS-230001-A	概要
14	トンネル工	トンネル工(NATM)	多分割トラス構造鉄筋支保工「MSラチスガーダー」	防水シートに穴を開けずに段取筋を設置できる	QS-230002-A	概要
15	トンネル工	施工管理	トンネル地表面管理システム「Point Shot」	トンネル工事に伴う地表面変位の自動監視	QS-230012-A	概要
16	橋梁上部工	その他	GFRP(VI成形)ボックス桁橋	VI成形と接着接合を利用し、軽量化を実現したGFRP橋梁	QS-230013-A	概要
17	環境対策工	廃棄処理場	廃棄物最終処分場の覆土代替材「HR」	処分場覆土の施工を効率化	QS-230022-A	概要
18	調査試験	測量	クラウド型変位計測システム「Eagle Eye」	GNSSを用いた高精度位置変位計測システム	QS-230011-A	概要

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(一覧表)

● 令和5年度に新規登録された22技術の新技術は以下のとおりです。

※ 技術名称欄よりNETIS情報が確認できます。 ※ 備考欄の「概要」より技術概要が確認できます。

番号	工 種		技術名称	特徴(アピールポイント)	NETIS登録 番号	備 考
	Lvl.1	Lvl.2				
19	調査試験	構造物調査	CRVICE(クレビス)鋼管柱き裂点検システム	非破壊型の検査方法を採用した小型・軽量の鋼管柱き裂点検システム	QS-230018-A	概要
20	ITS関連技術	安全運転の支援	工事車両安全運行支援・運行管理システム「D-safety」	工事用車両の運行管理の円滑化や安全運行を支援するシステム	QS-230017-A	概要
21	電気通信設備	電気設備	定置型オフグリッド電源システム「リブグロ発電システム」	停電時の事業継続を確実にする電力システム	QS-230014-A	概要
22	電気通信設備	電気設備	取付部一体型アルミ製LEDトンネル照明灯具	省施工・低コストで環境配慮型LEDトンネル照明灯具	QS-230004-A	概要

令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

1

施工計画シミュレーション 「Smart Construction Simulation」 QS-230007-A

本技術は、土工施工管理技術である。施工計画時の問題点を3Dモデル化+最適な再計画立案を補助するシステムで、従来は、現場管理者による施工計画立案で対応していた。本技術の活用により、施工計画業務の省力化および生産性の向上が可能となる。



2

高速ドローン測量システム「Smart Construction Edge2」 QS-230006-A

本技術は、ドローン測量技術である。ドローン撮影画像をGCP(標定点)を設置することなく現場で高速かつ高精度に3次元データ化する装置で、従来は、GCPを利用したドローン測量で対応していた。本技術により、自動化や高速化を図れるため、施工性、経済性が向上する。



3

重機登坂作業時の危険警告システム「登坂傾斜OKくん」 QS-230008-A

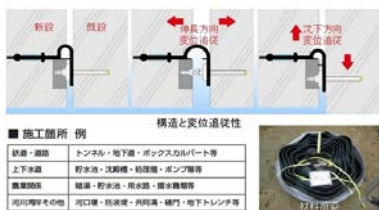
本技術は安全管理に関する技術である。車両系建設機械(バックホウ)の登坂作業については、従来、安全監視員による目視確認としていたが、本技術では登坂能力オーバーに対し「LED光源」と「アラーム音」により警告を行うことで、安全意識の向上を図る技術である。



4

新設・既設構造物取り合い部止水板「サンタックL型止水板・D-L型止水板」 QS-230019-A

本技術は、コンクリート構造物の止水板技術である。新設・既設構造物取り合い部において変位追従性を付加した止水板で、従来は、増打ち+塩化ビニル止水板で対応していた。本技術の活用により、確実な止水および省力化が可能となる。



5

鋼管内掘削(水中掘削)オムパロス工法「A工法」 QS-230016-A

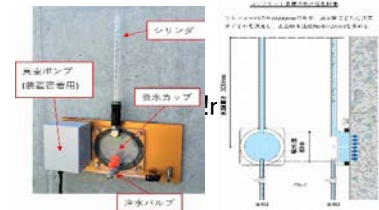
本技術は鋼管矢板基礎工に関する技術である。水中で鋼管内の掘削・洗浄をウォータージェットで行い、同時に特殊サンドポンプで排土(排泥)する施工法である。従来はハンマーグラブで施工していた。本工法の活用により工期の短縮が期待できる。



6

簡易型表面吸水量試験機「POROSIT」 QS-230005-A

本技術はコンクリート表面に塗布した含浸材の性能を確認する簡易的な非破壊試験技術である。性能は表面吸水量試験機により検査しその場で良否を確認できる。本技術の活用により表面含浸材の性能効果を容易に測定できるため試験の省力化および経済性の向上が図られる。



7

サイウォール(消音仮設壁) QS-230021-A

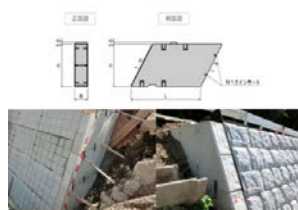
本技術は、屋内の工事騒音をユニット化した仮設壁で低減する製品で、従来は軽量鉄骨下地材+化粧石膏ボードにより仮設壁を設置している。本製品は、加工が不要で設置も容易であるため、施工性の向上及び周辺環境への影響抑制が期待される製品である。



8

二次製品小口止ブロック「小口ブロックZ(ゼット)」 QS-230003-A

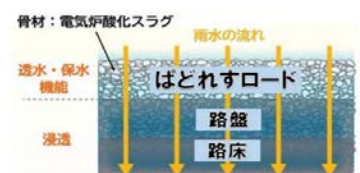
本技術はコンクリートブロック積工の小口止め工に関する技術である。従来、現場打ちであった小口止め工を二次製品化したことにより、型枠組立・解体、コンクリート打設、養生が不要となるため、省人化、省力化と工期短縮が可能となる。



9

電気炉酸化スラグを用いた透水性舗装「ぼどれすロード舗装」 QS-230009-A

本技術は、透水性舗装工に関する技術である。従来技術は骨材に天然資源の砕石を使用していた。本技術は電気炉酸化スラグを骨材として利用した透水性コンクリート舗装であり、環境負荷低減(副産物の再利用・路面温度抑制)が図れる。



令和5年度 九州地方整備局にて新規登録された新技術(詳細)

19

CRVICE(クレビス)鋼管 柱き裂点検システム

QS-230018-A

本技術は、非破壊調査技術である。標識や照明の鋼管柱き裂点検において、小型軽量で塗膜除去が不要な非破壊型点検システムで、従来は、目視による点検で対応していた。本技術の活用により、近接目視では見逃す可能性がある小さなき裂を検出できるため、予防保全に寄与する。



20

工事車両安全運行支援・ 運行管理システム「D- safety」

QS-230017-A

本技術は工事用車両の運行管理を支援するものである。リアルタイムでの経路把握や注意喚起ならびに帳票自動作成等が可能であり、従来は運転手の主観により手動で作成された日報に基づいた車両運行管理で対応していた。本技術により安全性や施工性等の向上が期待できる。



21

定置型オフグリッド電源 システム「リブグロ発電機 システム」

QS-230014-A

本技術は、災害時の非常用電源に関する技術である。従来は、ディーゼル式発電機で対応していた。本技術は、蓄電池とガス発電機の組み合わせにより無瞬断で安定した電力供給が可能のため、事業の継続に支障がない。また、ガス発電機は自動メンテナンス機能を備えている。



22

取付部一体型アルミ製 LEDトンネル照明灯具

QS-230004-A

本技術はトンネル照明設備の技術である。本技術の活用により、光学性能の向上による広スパン化(設置数量削減)、高効率化照明の実現によるCO2削減及び取付部一体化による施工性の向上、設置工程の短縮が図れる。

